

## シュンレンカ皮下注 463.5mg

### 【この薬は？】

販売名	シュンレンカ皮下注 463.5mg SUNLENCA Subcutaneous Injection 463.5mg
一般名	レナカパビルナトリウム Lenacapavir Sodium
含有量 (1バイアル中)	レナカパビルナトリウム 473.1mg (レナカパビルとして 463.5mg)

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、抗ウイルス剤（カプシド阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）のカプシド機能に対して多段階に働きウイルスの増殖をおさえます。
- ・ 次の病気の人に医療機関で使用されます。

#### 多剤耐性H I V－1 感染症

- ・ この薬は、以下のいずれも満たす人に使用されます。
  - ・ 過去の治療において、この薬を含まない既存の抗レトロウイルス療法による適切な治療を行ってもウイルス学的抑制が得られなかった人。
  - ・ この薬を含まない複数の抗H I V薬に耐性を示す人。
  - ・ この薬の使用の前にレナカパビル錠剤を使用し、レナカパビルに対する忍

容性（副作用があらわれたとしても、十分耐えられるかどうか）が確認された人。

- ・ この薬は、他の抗HIV薬と併用されます。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・ 過去にシュンレンカ皮下注に含まれる成分で過敏症のあった人
  - ・ 次の薬または食品を使用している人  
リファンピシン（リファジン）、フェニトイン（アレビアチン）、フェニトイン・フェノバルビタール（ヒダントールD/E/F）、ホスフェニトインナトリウム水和物（ホストイン）、カルバマゼピン（テグレート）、アパルタミド（アーリーダ）、エンザルタミド（イクスタンジ）、ミトタン（オペプリム）、セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタン）及びエルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン）
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に、医師または薬剤師に教えてください。
  - ・ 末期腎不全の人
  - ・ 肝臓に重度の障害がある人
  - ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
  - ・ 授乳中の人
- この薬には、併用してはいけない薬や食品（○次の人は、この薬を使用することはできません。を参照）、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を使用する前に薬剤耐性検査（薬が効くかどうかの検査）が行われます。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

### ● 使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて医師が決め、医療機関において注射されます。

通常、成人の使用量および使用回数は次のとおりです。

1回の使用量	使用回数
927mgを皮下注射	6ヵ月に1回

シュンレンカ錠剤を服用し始めてから15日目にこの薬の皮下注射が開始されます。この薬の2回目以降の使用は、使用予定日（この薬の最終投与日から26週間）の前後2週間以内に行われます。

### ● どのように使用するか？

腹部に1ヵ所当たり1.5mLずつ2ヵ所に注射されます。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- この薬は使用スケジュールが守られない場合、ウイルスの再増殖及び薬剤耐性リスクのおそれがあるため、使用スケジュールを守ってください。
- この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が、次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
  - ・ この薬は、H I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性があります。身体状況の変化は全て医師に報告してください。
  - ・ この薬を長く使用した場合の影響については、わかっていません。
  - ・ この薬には、併用してはいけない薬や併用を注意すべき薬があるため、使用しているすべての薬を医師または薬剤師に報告してください。また、この薬の治療中に新たに他の薬を使用する場合には、事前に医師または薬剤師に相談してください。
- この薬を含めて、複数のH I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したことがあります。また、自己免疫疾患（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれることがあります。
- 妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- 授乳を避けてください。
- セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを、医師または薬剤師に伝えてください。

## 【この薬の形は？】

性状	黄色澄明の液			
形状				
	バイアル	バイアルアダプター	シリンジ	注射針

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	レナカパビルナトリウム
添加剤	マクロゴール 300

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ギリアド・サイエンシズ株式会社

(<https://www.gilead.co.jp/>)

メディカルサポートセンター

電話：0120-506-295

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日および会社休日を除く)